

## 平成26年度局配分枠予算について

消 防 局

### 1 局配分枠予算編成に当たっての考え方

消防局では、「はばたけ未来へ！京プラン」に掲げる「安心都市・京都」の実現のため、火災減少や焼死者防止等に取組む予防消防の推進や複雑多様化する災害に的確に対応する消防活動体制の充実はもとより、地域の災害対応力の中核を担う消防団の充実強化に重点を置き予算編成を行った。

特に消防団は、東日本大震災をはじめ、平成25年9月に京都市に甚大な被害をもたらした台風18号における活動など、近年、その重要性が全国的にも再認識されているが、団員の確保や高齢化などが課題となっている。これらの課題に対し、若手消防団員の意見を積極的に消防団活動にいかすための仕組みづくりや、装備品の充実など、消防団の活性化策について、重点的な予算配分を行った。

また、平成25年の救急出動件数が過去最高を更新するなど、増加する救急需要に対応するため、必要な経費について適切に予算配分を行った。

### 2 局配分枠予算における主な新規・充実事業

#### <新規事業>

文化財防火サマースクールの開催 1,200千円

#### <充実事業>

消防団活性化事業（消防団100人委員会U-35の推進）

全体事業費 7,700千円（うち、充実分 1,000千円）

消防団装備品整備（消防団水災対策器材整備）

全体事業費 17,930千円（うち、充実分 3,900千円）